

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2025年 5 月 28 日	
愛 知 県 知 事 殿	
フジパン株式会社 代表取締役 大宮 道之	
フジパン株式会社 豊明工場	
住 所 愛知県豊明市新田町井ノ花18番地	
氏 名 工場長 高懸 智	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0562-92-4106	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	フジパン株式会社 豊明工場
事 業 場 の 所 在 地	愛知県豊明市新田町井ノ花18番地
計 画 期 間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	09 食品製造業
② 事 業 の 規 模	213億5000万円
③ 従 業 員 数	808
④ 業廃棄物の一連の処理の工程	別紙

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥①	汚泥②
	排出量	5237 t	4 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥①	汚泥②
	排出量	4800 t	3 t
	(今後実施する予定の取組) 脱水機の性能維持に努める		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥 排水処理、日常管理、良好維持する		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥 脱水機の性能維持に努める		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	
	排出量	302 t	
	（これまでに実施した取組） 不良品の削減の生産管理の強化		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	
	排出量	281 t	
	（今後実施する予定の取組） 生産切り替え、ロス等の工程管理の徹底		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 動植物性残さ ゴミの分別の徹底		
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 動植物性残さ ゴミの区別を強化と不良品削減		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ①	廃プラ②
	排出量	397 t	58 t
	（これまでに実施した取組） 包装不良、ゴミの削減の徹底		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ①	廃プラ②
	排出量	355 t	53 t
	（今後実施する予定の取組） 廃棄物の処理を教育し、ゴミの削減の徹底を継続する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラ ゴミの分別の徹底		
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラ ゴミの区別を強化と不良品削減		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	4 t	7 t
	（これまでに実施した取組） ゴミの削減の徹底		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	3 t	5 t
	（今後実施する予定の取組） ゴミの削減の徹底を継続する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 紙くず、木くず ゴミの分別の徹底		
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 紙くず、木くず ゴミの区別を強化します		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック③	ガラス・陶磁器くず
	排出量	36 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ゴミの削減の徹底		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック③	ガラス・陶磁器くず
	排出量	32 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ゴミの削減の徹底を継続する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、ガラス・陶磁器くず ゴミの分別の徹底		
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、ガラス・陶磁器くず ゴミの区別を強化します		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	排出量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ゴミの削減の徹底		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	排出量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ゴミの削減の徹底を継続する		

産業廃棄物の分別に関する事項	
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず ゴミの分別の徹底
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず ゴミの区別を強化します

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	乾電池	蛍光灯
	排出量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ゴミの削減の徹底		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	乾電池	蛍光灯
	排出量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ゴミの削減の徹底を継続する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 乾電池 蛍光管 ゴミの分別、削減		
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 乾電池 蛍光管 使用する機械の保全に努めて使用量を削減する		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ゴミの削減の徹底		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ゴミの削減の徹底を継続する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥①	汚泥②
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	4,908 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 排水処理、日常管理、良好維持する		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥①	汚泥②
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	4,900 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 脱水機の性能維持に努める		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥①	汚泥②
	全 処 理 委 託 量	329 t	4 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	4 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	329 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 処理水処理、日常管理、良好維持する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	
	全 処 理 委 託 量	302 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	302 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	不良品減少への生産管理		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ①	廃プラ②
	全 処 理 委 託 量	397 t	58 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	58 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	397 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	ゴミの分別、削減		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	全 処 理 委 託 量	4 t	7 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	7 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	4 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	ゴミの分別、削減		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	36 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	36 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	ゴミの分別、削減		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	全 処 理 委 託 量	0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	ゴミの分別、削減		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	乾電池	蛍光管
	全 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ゴミの分別、削減		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥①	汚泥②
	全 処 理 委 託 量	310 t	4 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	4 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	310 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	脱水機の性能維持に努める		
※事務処理欄			

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物残さ	
	全 処 理 委 託 量	290 t	4 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	4 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	290 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	生産切り替え、ロス等の工程管理の徹底		
※事務処理欄			

① 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ①	廃プラ②
	全 処 理 委 託 量	382 t	50 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	50 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	382 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	ゴミ袋の区別を明確にして区別を強化します		
※事務処理欄			

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	32 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	32 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	ゴミ袋の区別を明確にして区別を強化します		
	※事務処理欄		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	全 処 理 委 託 量	0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	ゴミ袋の区別を明確にして区別を強化します		
※事務処理欄			

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	乾電池	蛍光管
	全 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	ゴミ袋の区別を明確にして区別を強化します		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。